

事 務 連 絡

令和 2 年 4 月 27 日

別記 御中

厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室

介護保険計画課

高齢者支援課

振 興 課

老人保健課

有毒植物による食中毒防止の徹底について

日頃より厚生労働行政の推進につきましてご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

例年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物の誤食による食中毒が多く発生しています。本年も、スイセン、バイケイソウ等の有毒植物の誤食による食中毒事例が報告されており、患者の多くを高齢者が占めています。

これを踏まえ、有毒植物による食中毒の防止について、別紙の通り、都道府県等に対して事務連絡を発出し、注意喚起を図っているところです。

貴会におかれましては、別紙の内容について御了知いただくとともに、会員各位へ周知いただきますようお願いいたします。

【別紙】

「有毒植物による食中毒防止の徹底について」（令和 2 年 4 月 27 日付け厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室ほか連名事務連絡）

(別記)

公益社団法人 全国老人保健施設協会

一般社団法人 日本慢性期医療協会

日本介護医療院協会

公益社団法人 日本看護協会

公益財団法人 日本訪問看護財団

一般社団法人 全国訪問看護事業協会

一般社団法人 全国デイ・ケア協会

一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会

一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会

一般社団法人 日本言語聴覚士協会

一般社団法人 日本作業療法士協会

公益社団法人 日本理学療法士協会

事務連絡
令和2年4月27日

都道府県
各指定都市 介護保険担当主管部（局）御中
中核市

厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室
介護保険計画課
高齢者支援課
振興課
老人保健課

有毒植物による食中毒防止の徹底について

日頃より厚生労働行政の推進につきましてご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

例年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物の誤食による食中毒が多く発生しています。本年も、スイセン、バイケイソウ等の有毒植物の誤食による食中毒事例が報告されており、患者の多くを高齢者が占めています。

これを踏まえ、厚生労働省においては、別添のとおり「有毒植物による食中毒防止の徹底について」（令和2年4月22日付け厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長通知）を発出し、注意喚起をはかっています。

別添の内容について十分御了知いただくとともに、管内市町村、サービス事業者等へ周知いただきますようお願いいたします。

【別添】

「有毒植物による食中毒防止の徹底について」（令和2年4月22日付け厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長通知）

薬生食監発 0422 第 1 号
令和 2 年 4 月 22 日

各

都 道 府 県
保 健 所 設 置 市
特 別 区

 衛生主管部 (局) 長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長
(公 印 省 略)

有毒植物による食中毒防止の徹底について

例年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物の誤食による食中毒が多く発生しています。本年も別添のとおり、スイセン、バイケイソウ等の有毒植物の誤食による食中毒事例（令和2年4月20日現在、事件数5件、患者数13名）が報告されています。

つきましては、各都道府県等におかれては、厚生労働省で作成したリーフレットや自然毒のリスクプロファイル等を活用するなどにより、食用と確実に判断できない植物については、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」よう注意喚起を行うようお願いいたします。注意喚起を行う際には、例年、患者の多くを高齢者が占めていることに鑑み、地域広報誌等、高齢者の目にもとまりやすい各種メディアの活用や高齢者施設等の関係団体を通じ、継続的に行うようお願いいたします。また、過去には有毒植物の苗が野菜の苗として販売されていた事例も報告されていることから、必要に応じ、農林部局等関係部局とも連携し、事業者に対する監視指導を行うようお願いいたします。

参考) 厚生労働省ホームページ

- 有毒植物による食中毒に注意しましょう
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html)
- 自然毒のリスクプロファイル
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)

別添：令和2年における有毒植物による食中毒事例（令和2年4月20日現在）

【事例1】

発生年月日	令和2年1月31日
発生場所	鹿児島県 家庭
原因植物	グロリオサの球根（推定）
概要	自宅で観賞用として栽培していたグロリオサの球根を、ヤマイモと誤認し喫食し、食中毒症状を呈した後、死亡した。
患者	1名（80代男性）
主な症状	腹痛、嘔吐、下痢

【事例2】

発生年月日	令和2年4月1日
発生場所	山形県 家庭
原因植物	スイセン
概要	所有する畑で観賞用として栽培していたスイセンの葉を、ニラと誤って喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	2名（70代男性、70代女性）
主な症状	吐き気

【事例3】

発生年月日	令和2年4月9日
発生場所	岩手県 家庭
原因植物	スイセン
概要	自宅敷地内で観賞用として栽培していたスイセンの葉を、ニラと誤って喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	3名（50代男性、40代女性、10代男性）
主な症状	嘔吐、吐き気、下痢

【事例4】

発生年月日	令和2年4月12日
発生場所	金沢市 家庭
原因植物	バイケイソウ
概要	ギボウシと誤認して採取したバイケイソウの葉（推定）を喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	5名（60代男性、50代女性、30代男性、30代女性、20代女性）
主な症状	嘔吐、舌の痺れ、めまい等

【事例5】

発生年月日	令和2年4月18日
発生場所	広島県 家庭
原因植物	スイセン (推定)
概 要	自宅敷地内で自生していたスイセンの葉を、ニラと誤って喫食し、食中毒症状を呈した。
患 者	2名 (10代男性、10代女性)
主な症状	嘔吐、舌の痺れ

おじいちゃん、おばあちゃん、**食べないで!**

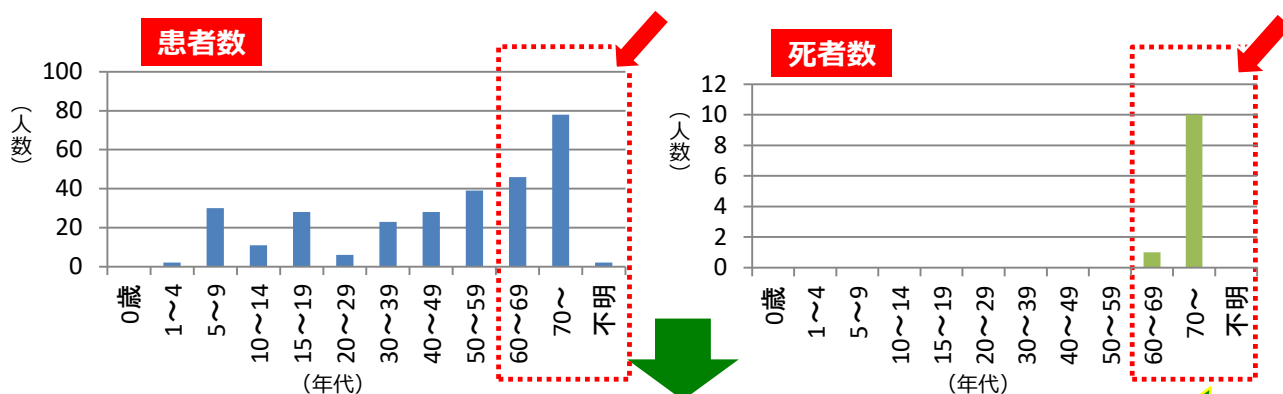
それ、**有毒植物**ですよ!!



高齢者の方が、有毒植物を山菜などと間違っ
て食べて、**死亡する事案**が発生しています。

年代別にみた有毒植物※による食中毒患者数・死亡者数 (2015~2019年)

※キノコとジャガイモを除く



⚠️ 食用と確実に判断できない植物は、

採らない! 食べない!

売らない! 人にあげない!

絶対に

『ニラ』に似た植物
が生えているわ?
食べられる
のかしら?



- ✓ 家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培するのはやめましょう。
- ✓ 有毒植物が山菜に混じっていることがあります。食用と確実に判断できない植物を食べるのはやめましょう。
- ✓ 食用の植物だと思っても、植えた覚えのない植物を食べるのはやめましょう。

よくわからないものは、
食べてはいけませんよ!



⚠️ **野草を食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を!**



食べないでください！

— 食用と間違えやすい有毒植物の例 —

スイセンおよびスノーフレーク



スイセン



スノーフレーク
(スズランスイセン)

【中毒症状】

食後30分以内で、吐き気、嘔吐（おうと）、頭痛など。（※スイセンでは、悪心、下痢、流涎（りゅうぜん）、発汗、昏睡、低体温などもあります）

【間違えやすい植物】

・ニラ など（※スイセンは、ノビルやタマネギとも間違えやすいので、特にご注意ください）

イヌサフラン



葉



球根

【中毒症状】

嘔吐（おうと）、下痢、皮膚の知覚減退、呼吸困難。重症の場合は死亡することもあります。

【間違えやすい植物】

《葉》・ギョウジャニンニク ・ギボウシ と類似。
《球根》・ジャガイモ ・タマネギ など

バイケイソウ



芽出し期
のバイケイ
ソウ



芽出し期
のコバイ
ケイソウ

【中毒症状】

嘔吐（おうと）、下痢、手足のしびれ、めまいなどの症状が現れ、**死亡することもあります。**

【間違えやすい植物】

・オオバギボウシ（ウルイ）
・ギョウジャニンニク など

グロリオサ



【中毒症状】

口腔・咽頭灼熱感、発熱、嘔吐（おうと）、下痢、背部疼痛などが発症し、臓器の機能不全などにより、**死亡することもあります。**

【間違えやすい植物】

《根》・ヤマイモ

チョウセンアサガオ



チョウセン
アサガオの葉と花



チョウセン
アサガオの種

【中毒症状】

口の渇き、瞳孔の散大、意識混濁、興奮、麻痺、心拍数の増加 など

【間違えやすい植物】

《葉》・モロヘイヤ
・アシタバ
《根》・ゴボウ
《種》・ゴマ など

トリカブト



【中毒症状】

食後10～20分以内で、口唇、舌、手足のしびれ、嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、不整脈、血圧低下、けいれん、呼吸不全に至って**死亡することもあります。**

【間違えやすい植物】

・ニンソウ
・モミジガサ など

・代表的な有毒植物の特徴は「[自然毒のリスクプロファイル](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)」をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html

毒

有毒植物に要注意

山菜狩りなどで誤って有毒な野草を採取し、食べたことにより、食中毒が発生しています。

⚠ 有毒植物による食中毒で、**死者も発生**しています。
食用の野草と確実に判断できない植物は

絶対に

採らない！ 食べない！

売らない！ 人にあげない！

◎家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培するのはやめましょう。
◎山菜に混じって有毒植物が生えていることがあります。山菜狩りなどをするとき
は、一本一本よく確認して採り、調理前にもう一度確認しましょう。



野草を食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！
見分けに迷ったら、最寄りの保健所へご相談ください！

<食用と間違いやすい有毒植物の例>

イヌサフラン



【中毒症状】

嘔吐、下痢、皮膚の知覚減退、呼吸困難。
重症の場合は死亡することもある。

【間違いやすい植物】

(葉)
・ギョウジャニンニク
・ギボウシ と類似。
(球根)
・ジャガイモ
・タマネギ など

スイセン 及び スノーフレーク



スイセン



スノーフレーク
(スランスイセン)

【中毒症状】

食後30分以内で、
吐き気、嘔吐、頭痛など。
(スイセンでは、悪心、下痢、
流涎、発汗、昏睡、低体温など
もある。)

【間違いやすい植物】

・ニラ など
(スイセンは、ノビルやタマネギ
にも間違われやすい)

トリカブト



【中毒症状】

食後10～20分以内で、
口唇、舌、手足のしびれ、嘔吐、腹痛、下痢、
不整脈、血圧低下、けいれん、呼吸不全に
至って死亡することもある。

【間違いやすい植物】

・ニリンソウ
・モミジガサ など

ヒメザゼンソウ



若い葉(左上1枚は別植物)



展開した葉

【中毒症状】

食後すぐに唇のしびれ、
口腔内の腫れ、胃痛な
どをおこす。

【間違いやすい植物】

・オオバギボウシ(ウ
ルイ) など

過去10年間の有毒植物による食中毒発生状況（平成22年～令和元年）

植物名	間違えやすい植物の例（「 自然毒のリスクプロファイル 」より）	事件数	患者数	死亡数
スイセン	ニラ、ノビル、タマネギ	57	195	1
ジャガイモ	※親芋で発芽しなかったイモ、光に当たって皮がうすい黄緑～緑色になったイモの表面の部分、芽が出てきたイモの芽及び付け根部分などは食べない。	21	327	0
チョウセンアサガオ	ゴボウ、オクラ、モロヘイヤ、アシタバ、ゴマ	15	41	0
バイケイソウ	オオバギボウシ、ギョウジャニンニク	15	33	0
クワズイモ	サトイモ	15	30	0
イヌサフラン	ギボウシ、ギョウジャニンニク、ジャガイモ、タマネギ	15	22	10
トリカブト	ニリンソウ、モミジガサ	9	17	3
コバイケイソウ	オオバギボウシ、ギョウジャニンニク	5	13	0
ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ	4	4	0
観賞用ヒョウタン	ヒョウタン	3	20	0
ハシリドコロ	フキノトウ、ギボウシ	3	8	0
キダチタバコ	カラシナ、カラシ	2	7	0
ユウガオ	ヒョウタン、※まれに高ククルピタシン含量のユウガオによる中毒もある。苦みの強いものは摂食しない方がよい。	2	7	0
スノーフレーク	ニラ	2	5	0
ヒガンバナ	ニラ、ノビル、タマネギ	1	2	0
タガラシ	セリ	1	1	0
その他（ タマスダレ 、 ヒメザゼンソウ 等）		16	53	0
不明		4	8	0
合計		190	793	14

自然毒のリスクプロファイル

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html

○「**毒キノコ**」にも、**ご注意ください！**

・**[毒キノコによる食中毒に注意しましょう](#)**

○代表的な有毒植物及び毒キノコの特徴については

[「自然毒のリスクプロファイル」](#)をご覧ください。

○一部地域で、**山菜**から放射性物質が検出されています。

山菜狩りをする場合は、

[放射性物質のモニタリング検査結果や各種制限などの情報を確認](#)、または最寄りの市町村に安全性を問い合わせるなど、十分な注意を払ってください。

→ 林野庁ホームページ「**[山菜採取にあたっての留意点](#)**」